



稲村ヶ崎海岸 における諸工 事について

2025年5月9日

鎌倉の海を守る会 奥田
寺上（2丁目在住）

今年おこなわれている工事

狭い稲村ヶ崎海岸にて今年にはいつてから4つ



- ① 音無橋下水道管工事 — 鎌倉市都市整
- ② 稲村ヶ崎養浜工事 — 神奈川県藤沢土木事務所 なぎさ港湾課
(完了)
- ③ 稲村ガ崎擁壁改修工事 — 神奈川県藤沢土木事務所 道路維持課
- ④ R134歩道陥没復旧工事 — 神奈川県藤沢土木事務所 道路維持課



*予算の状況により変更になる場合あり

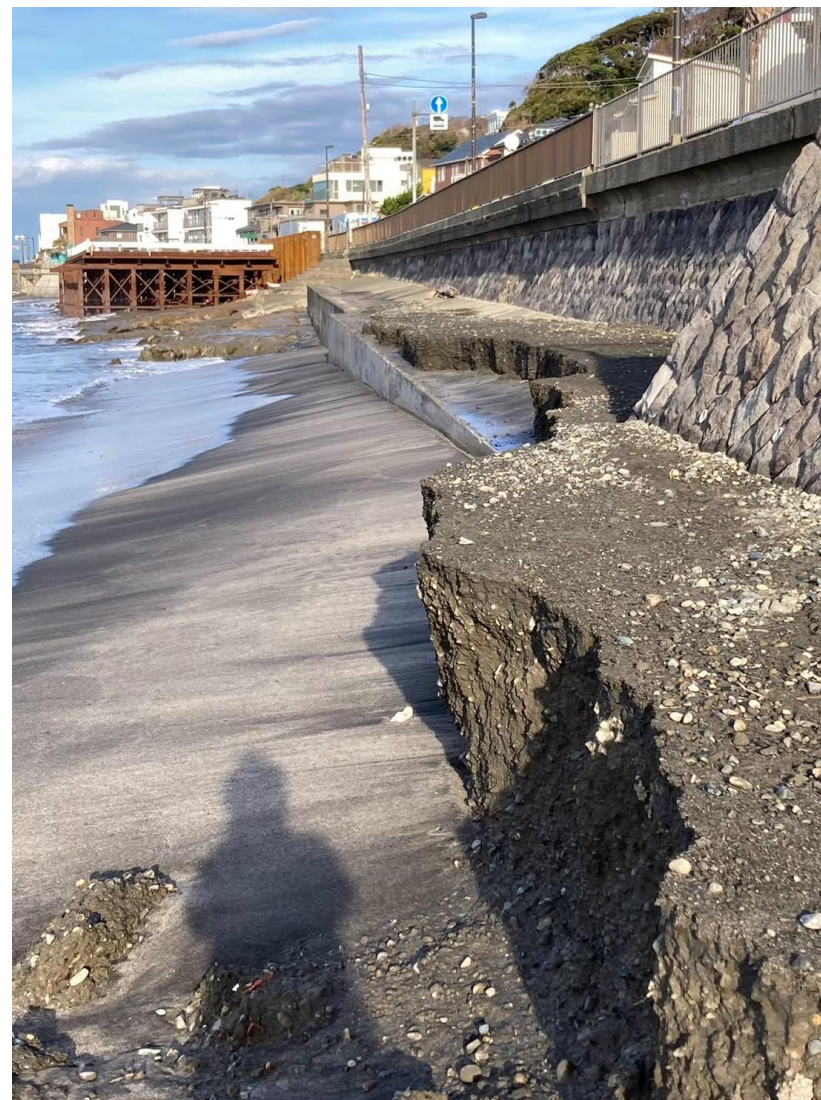
養浜工事

2月後半～3月中旬にかけて公園より砂を入れる工事を行った



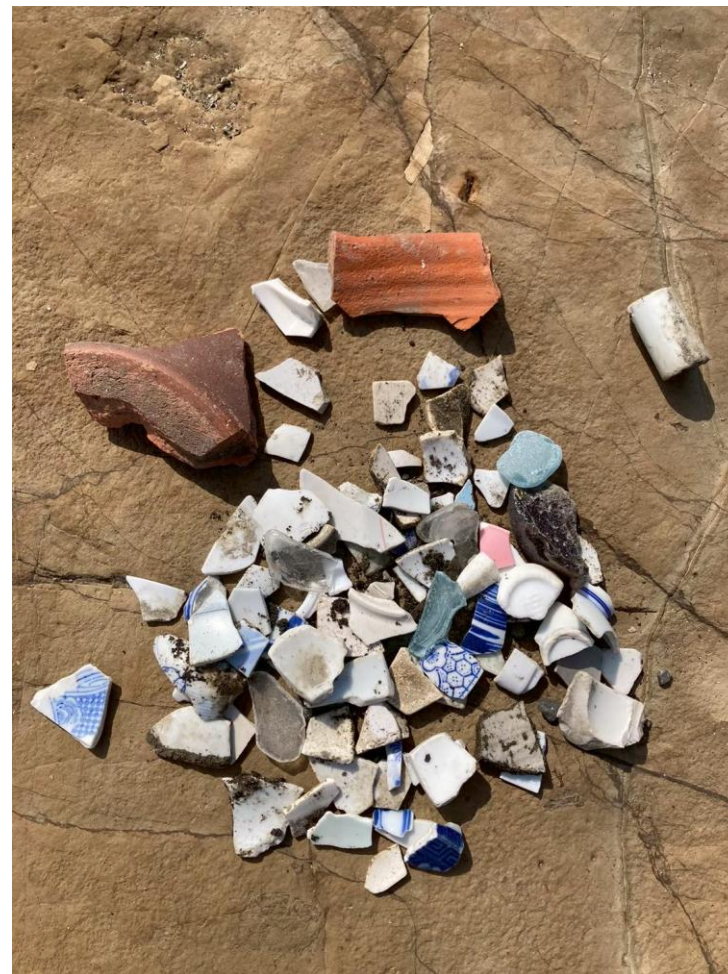
養浜工事

砂入れ完了翌週には両階段より西側はほぼ洗い流された



養浜工事

養浜材に混じる陶器片、ガラス片
七里ヶ浜駐車場正面近辺でも見受けられた。
陶器片の拾得地点を観察することで、養浜材の流出場所を確認するよう要望した



歩道陥没復旧工事

歩道だけでなく、ハッピーマーレ前の車道も空洞が見られたため
夜間工事を行っていた。（2025/4/22）

サンライズシャック前海側歩道が陥没（2025/3/20）



翌日復旧したものの、再度掘り起こし
現在も静観中。

駅入口交差点から公園まで、車道・
歩道の非破壊検査実施済とのこと



擁壁改修工事

R9年にかけて、極楽寺川までパイルを打ち込んで化粧板で覆う工事を行う。
今年度中に稲村ヶ崎駅入口交差点前の丸階段も撤去し工事を行う予定。



神奈川県

いなむらがさき

稲村ヶ崎

擁壁改修工事

国道 134 号 道路災害防除事業



令和5年 11 月撮影

災害を未然に防止し利用者の安全を図るとともに緊急輸送道路の機能を強化する取組

藤沢土木事務所

事業の目的

国道 134 号は、横浜駅市三春町を起点とし、大磯町大磯に至る主要な幹線道路で、災害時の緊急輸送道路（1 次路線）に指定されていますが、令和元年に発生した台風（10 号、19 号）による高波の影響で護岸が崩落する被害が発生し、長期間の交通規制が必要となるなど、円滑な交通環境の確保と防災機能の強化を目的とした擁壁改修工事が急務となっていました。

これまでに、令和元年に被災した擁壁の改修工事が完了していますが、隣接する擁壁も同様の被害を受ける可能性が極めて高いことから、現在、残る区間を西側、東側の 2 工区に分けて、改修工事を進めています。



改修前の状況

杭打設後の状況

事業の概要

○路線名 国道 134 号

○事業箇所 鎌倉市稲村ヶ崎 3 丁目（西側工区）、1 丁目（東側工区）

○事業概要 事業延長：約 0.48 km 幅員：12.0 m（2 車線）

擁壁改修工 L=479 m（西側：248 m、東側 231 m）

鋼管杭工 Φ1000 mm L=8.5 m~13.5 m

N=406 本（西側 212 本、東側 194 本）

化粧パネル工 L=479 m（西側：248 m、東側 231 m）

○交通量 23,702 台/日（R3 センサス）

○事業年度 令和 4 年度～令和 9 年度（予定）

標準断面図



施工状況（西側工区）

施工状況（東側工区）

平面図



完成イメージ（七里ヶ浜工区）



擁壁改修工事



鎌倉市の公園予定地（稲村ガ崎3丁目）の擁壁工事は鋼矢板に化粧パネル工法で行われ、内部が空洞のままパネルで閉めてしまいました。しぼり水が集まる沢「スベカワ」の範囲で、擁壁の下から常に水が出ています。雨の後数日間「しぼり水」で川のような流れが発生します。（参考動画あり）



西側から施工した鋼矢板の最後のところ。コンクリートを破いて出続ける黒砂と水がある。

住民として訴えていくべきと思われる点

1) 養浜工事

陶器片を離岸流により流出して西向きに漂砂していることを示す証拠物件 としてモニターし、養浜材の一部が西に移動すると理解して今後の養浜事業に活かしてもらいたい

2) 擁壁改修工事 (みずみち調査)

大量に湧き出る水を化粧板で遮り、地下水での問題が行らないように詳細調査と対策を施してほしい

3) 擁壁改修工事 (観光客導線確保)

今年度丸階段の工事に入るため、観光客が海に出るための導線の周知をしてほしい

- ① 県営駐車場の脇から極楽寺橋下を通る道の周知
- ② 稲村ヶ崎温泉前の押しボタン式信号の待ち時間の短縮

その他 (謎の構造物)

サンライズシャック前の擁壁をカバーする構造物や、侵食により砂がなくなったことで、不気味にそびえたつ水たたきなどの構造物。実は誰のものか不明。

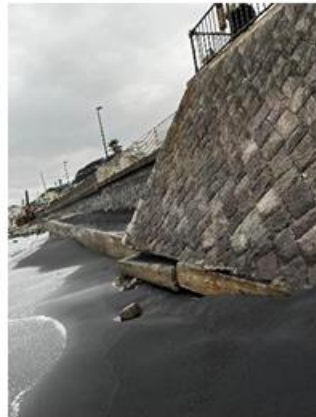
カマウミより構造物の採寸



2018 年 壁の上は傾斜。



2023 年亀裂から砂が噴出。天面の陥没が顕著に。



2024 年、階段の基礎が剥離して下降。翌年 1 月セメント袋で補修したが沈下が続いている。

